

## 令和4年度 地理歴史科 「地理総合」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年A～G組
教科書	わたしたちの地理総合（二宮書店）	副教材等	新編フォトグラフィア地理図説（とうほう）

## 1 学習の到達目標

社会的事象に問いを立て、地理的な見方・考え方を活用しながら、課題を追究し解決する活動を行う。  
 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に実存し、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	3章 地球的課題と国際協力	1節 人口・食料問題 1 世界の人口問題 2 人口増加 中国とインド 3 人口停滞 日本 4 世界の食料問題 5 人口増加と食料問題	世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解し、人口ピラミッドや主題図などの資料から問題の所在と解決のための取り組みを考察する。各国の人口政策や諸問題について比較し、理解を深める。持続可能な発展のために、飢餓や飢饉などの食料問題と人口問題を関連させて理解する。	授業パフォーマンス 提出物 定期考査（全4回）
	5		2節 居住・都市問題 1 世界の居住・都市問題 2 大都市 ロンドン 3 密集都市 ジャカルタ	都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに、人口集中によって引き起こされる都市問題についても写真などから判読する。また、途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを理解し、その構造的要因を考察する。	
			3節 資源・エネルギー問題 1 世界の資源・エネルギー 2 エネルギー資源の生産・消費と課題 3 再生可能なエネルギーへの移行	エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し、主題図や統計資料をもとに資源の偏在性、有限性、そして消費における地域格差などの諸課題を読み取る。エネルギー資源の持続可能な活用と安定供給を実現するための方策を考察する。	
	6		4節 地球環境問題 1 地球温暖化の現状と将来 2 熱帯林の減少アマゾン 3 砂漠化の進行 アラル海	地球規模でおこっている環境問題の仕組みを理解する。地球環境を守り持続可能な発展を実現するためには、国際的な協力体制が必要なだけでなく、その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察する。環境問題と自分自身とのつながりを意識し、SDGsもふまえながら具体的な取り組みを構想する。	
			第1回考査		
	7	4章 生活圏の諸課題	1節 自然環境と防災 1 日本の地形・気候と生活 2～4 風水害/火山/地震・津波と防災 5 都市型災害と防災 6 防災・減災への心構え	日本列島の地形や気候のなりたちと多様性について、主題図やグラフ、写真などの資料から理解する。また、日本列島では自然による恩恵だけでなく、風水害、火山、地震・津波、都市型災害などが発生することを世界的な視野から捉え、その要因と特徴、災害の地域性、防災や減災への取り組みや課題を考察する。	
	8		2節 持続可能な地域づくり 1 地域調査の実施手順	生活圏の課題を解決するための手法としての地域調査を実施し、身近な地域の魅力やかかえている課題を見だし、調査を踏まえてその解決策を考察する。	
	9		2～4 地域調査		
		1章 地図とGISの活用	1節 球面上の世界 1,2 球面上での生活 3 世界地図でとらえる地球	球体としての地球、時差と生活、おもな図法による世界地図、地図の表現を理解する。	
			2節 国家の領域と領土問題 1 国家の領域と海洋の役割 2 日本の位置と領土問題	国家の3要素や国境のなりたち、領域における海洋の役割、日本と周辺諸国との間の領有権問題について理解する。国境や領土問題が国際関係、人々の生活におよぼす影響を考察する。	
			第2回考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10		3節 国内や国家間の結びつき 1 国家をこえた結びつき 2 観光による結びつき 3 交通・通信による結びつき 4 貿易・物流による結びつき  4節 日常生活のさまざまな地図 1 身の回りにある地図 2 地理情報システム	国家間の結びつきを地域経済圏や国際連合を通して考察する。観光、交通・通信、貿易・物流の視点から、人や物・資本・サービス、情報の国際的な移動のようすを理解する。さまざまな統計地図や統計資料を分析し、表現する地理的スキルを養う。  身の回りにある地図を題材にして、地図を用いた情報伝達の方法を習得する。地球儀ソフトや地理院地図などのGISソフトウェアを利用して地理空間情報を扱い、表現する。	授業パフォーマンス 提出物 定期考査（全4回）
	11	2章 生活文化の多様性と国際理解	1節 自然環境と生活文化 1 地球上の地形のなりたち 2,3 山地と平野/海岸部の生活	河川がつくる地形や海岸部の地形、それらの地形を活かした暮らしの特徴を学習し、写真や地形図によって具体的に読み取り、考察するスキルを身につける。	
	12		4 地球上の気候のなりたち 5 暑い気候 アフリカ 6 乾燥した気候 モンゴル 7 寒冷な気候 シベリア 第3回考査	世界の各気候帯の自然環境の特色、人々の暮らしと工夫について、写真や雨温図、分布図などの資料から考察する。	
	1		2節 産業の発展と生活文化 1 農業の地域性 2 農業 南アジア 3 工業の地域性 4,5 経済成長 中国 6,7 工業化タイ・ベトナム	世界の農業・工業・第3次産業の特徴と生活文化との関連性を捉え、その地理的環境や歴史的背景を理解する。また、アジア各地の事例地域の学習を通して、経済活動の国内・国際的な発展とグローバル化による生活文化の変容を動的に捉え、主題図や写真などの資料を通して考察する。	
	2		3節 言語・宗教と生活文化 1 世界の言語 2 世界の宗教 3 世界の多文化社会  4節 グローバル化の進展と生活文化 1～3 地域統合 EU 4～6 グローバル化 アメリカ 第4回考査	世界の言語・宗教の特徴と分布、生活文化との関係を考え、その地理的環境や歴史的背景から地域的特色を理解する。世界の少数民族や少数言語、宗教対立、移民・難民などの現代社会の諸課題を理解し、多文化共生社会の実現方法について議論し、考察する。  EUの統合による産業や生活文化への影響、そして統合によって生じている経済格差や移民問題などの諸課題を理解する。 アメリカ合衆国建国時から多様性を育んできた地理的環境・歴史的背景を理解する。	

### 3 評価の観点

知識・技能	世界の生活文化の多様性を理解する。環境、資源、文化、防災、地域、SDGsなど諸課題を理解する。 地図や地理情報システムなどを用いるスキルを身につける。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、社会の諸課題を多面的・多角的に考察する。 地理的な課題の解決に向けて構想する力、発表する力、議論する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度を養う。 自分と自分の郷土に対するアイデンティティを養う。

### 4 評価の方法

定期考査、提出物、授業パフォーマンスを3観点の視点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

「主体的に学習に取り組む」とはどういう態度を意味するか、まずは各自がその問いに答えてください。

知之者不如好之者 好之者不如樂之者